



栗山川のあじさいも、きれいな花を咲かせる梅雨の季節がやってきました。学校図書館では、雨の日も楽しく過ごせるよう、本の紹介やお楽しみコーナーを作ってみなさんが来るのを待っています。ぜひ、休み時間には図書館をのぞいてみてくださいね。

本で発見！ ちばけん 千葉県 の魅力

6月15日は千葉県民の日

千葉県は明治6（1873）年に当時の木更津県・印旛県の両県が合併して誕生しました。今年は千葉県誕生150周年です。



『千葉県を築いた人々』 川村 優（監修） Obunsysa 館

千葉県は気候が温暖で、陸と海の物産に恵まれ、古くから人々が住み着きました。この本では、発展につくした50人が選定されています。平将門・千葉常胤・佐倉惣五郎・伊能忠敬が生きた時代を調べてみましょう。

『三越佐千夫少年詩集 どこかへ行きたい』 三越佐千夫（詩） 岩崎書店

三越佐千夫は千葉県香取市大倉の出身。家の近くには、広大な利根川や一面青々とした田んぼが広がり、そこで生きる小さな生き物たちを見て育ちました。詩を読むときと優しい気持ちになりますよ。

『利根川 322キロの旅』 浅井慎平（写真） 千葉日报社

利根川は群馬県・埼玉県・栃木県・茨城県・千葉県を流れる川で長さは322キロ。上流から下流の姿を写真で見えてみましょう。水運による交通・文化・経済の様子がわかります。

『ホーンデット・マンション』 ジェイムズ・トーマス（作） 橋高弓枝（訳） 偕成社

ディズニーランドのアトラクションにもなっていて有名なお話です。グレイジー邸の999人の恐ろしいドゴースト達。この「呪われた館」には、誰も知らない秘密が隠されていたのです！

えほん まな エスディーゼーズ 絵本で学ぼう！SDGs



SDGsの目標2 飢餓をゼロに

長い間食えることができずに、栄養不足になってしまう状態を「飢餓」といいます。発展途上国で飢餓に苦しむ人がたくさんいる一方で、先進国では、食えることのできる食品が大量に捨てられています。食べ物をむだにしないよう、意識することが大切です。

『いのちのたべもの』 中川ひろたか（文） 加藤休ミ（絵） おむすび舎

今日の夕ご飯は寄せなべ。はくさい・はまぐり・とりにく・がんもどき・・・「海のもの」と「陸のもの」でぎっしりのなべは、「地球」そのものです。大切な食べ物のことを伝える食育絵本。

◆ 本でコミュニケーション ◆

☆おすすめの本☆（図書委員のおすすめ）

『宝島』 R・L・スティーブソン（著） Gakken

海賊がうめた宝を探しに、少年が冒険するお話です。昔の海賊の様子や冒険に必要なアイテムが書かれています。海賊と戦っている主人公のジムがかっこよくてドキドキします。冒険好きの皆さん、ぜひ読んでみてください。

